

2009年3月期 第1四半期決算 説明資料

2008年8月6日

株式会社CSKホールディングス

・2009年3月期 第1四半期決算の業績概要

－ 情報サービス事業の業績

－ 金融サービス関連事業の業績

・2009年3月期 通期業績の見通し

<免責事項>

本資料は、業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、CSKホールディングス及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

(単位:百万円)

	2007/6	2008/6	前年同期比	増減率
売上高	68,099	51,128	△16,971	△24.9%
営業利益	17,586	△3,753	△21,340	△121.3%
営業利益率	25.8%	△7.3%	△33.2%	-
経常利益	18,364	△3,001	△21,366	△116.3%
四半期純利益	13,183	△3,232	△16,415	△124.5%

(単位:円)

	2007/6	2008/6	前年同期比
1株当たり利益	178.29	△45.82	△224.11
1株当たり純資産	2,604.54	2,241.23	△363.31

2009年3月期 第1四半期 決算のポイント

情報サービス事業： 売上+3.3%で計画通り順調に推移

テクノロジーサービス： 金融機関の大型再構築PRJが牽引。システム開発の受注高は+15.6%。

ビジネスサービス： 製品検証やテクニカルサポートを中心に減益。

金融サービス事業： 金融機関の融資姿勢に変化は見られず、市場の不透明感は継続
上期精算予定の投資案件が2Qに集中しており、1Qは組合に係る費用の取り込みのみ。

保有資産に毀損はなく、流動性を重視したオペレーションを継続。

証券事業： 株式市況の影響により業績が低迷

「リテール強化」を新たな方針として掲げ、具体的な施策の推進により業績は回復の兆し。

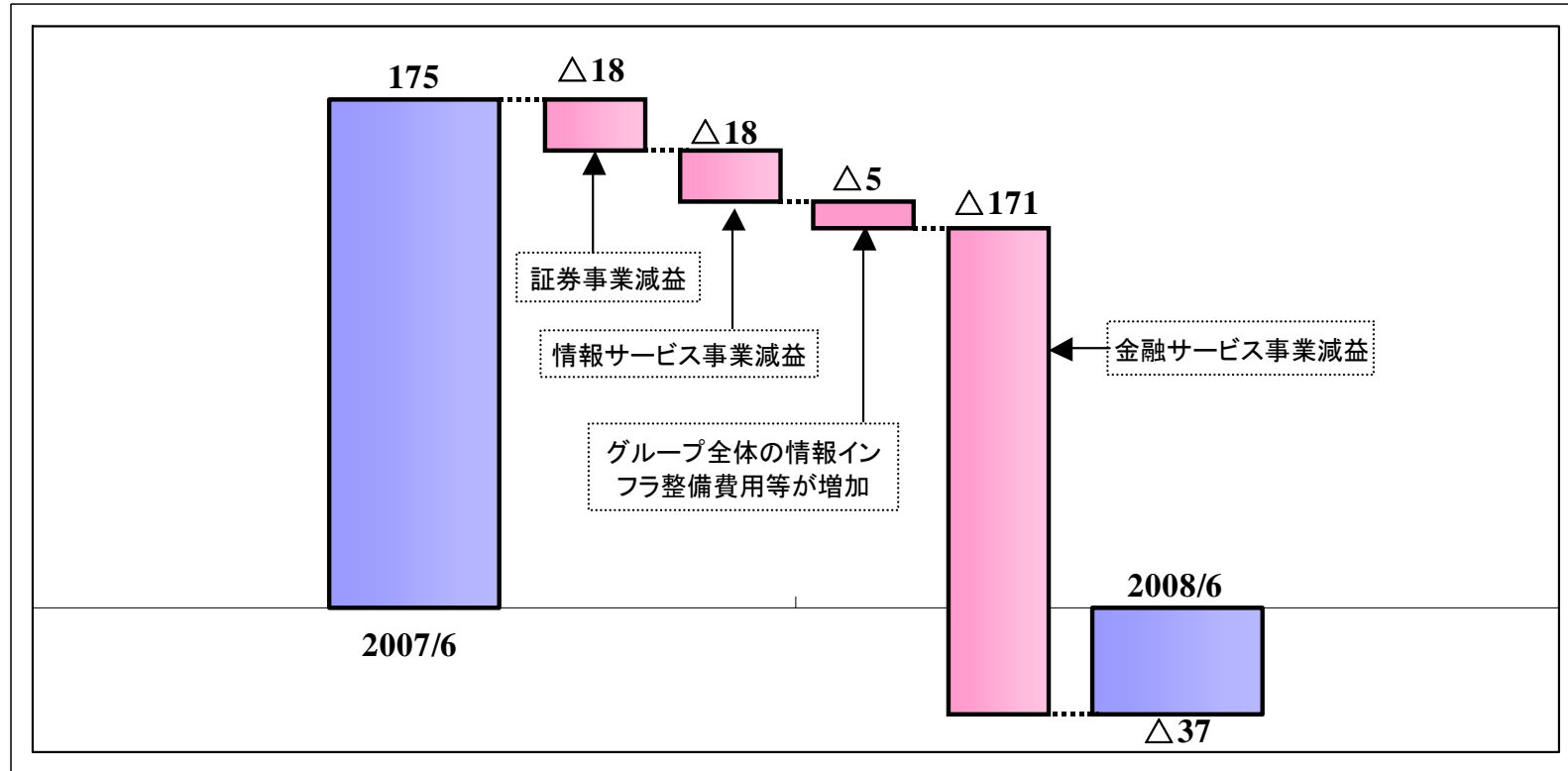
ー営業力強化に向けた組織体制への変更、ホールセールやスタッフ部門の再編など

証券系ビジネス： 第3の事業の柱とすべく、本格的な取り組みをスタート

コスモ証券の完全子会社化は完了。CSKグループのノウハウ・リソースを積極的に融合させて、証券系ビジネスの事業戦略を具現化し、企業価値の向上を推進する。

営業利益の対前年同期比増減要因

(単位: 億円)



販売管理費・営業外損益の内訳

(単位: 億円)

販売管理費	2007/6	2008/6	前年同期比	増減要因 又は 内容説明
人件費	78.5	82.6	4.1	新人増等
業務委託料	21.4	17.1	△4.3	コスモ証券でのコスト削減等
減価償却費	5.5	9.8	4.2	CSKホールディングス・コスモ証券での設備増加
家賃	12.8	15.5	2.6	営業拠点の拡大、単価の上昇等
その他	43.5	51.0	7.5	主な内容: レンタル料、研究開発費、保守料等
販売管理費 計	161.8	176.2	14.3	

営業外収益	2007/6	2008/6	前年同期比	増減要因 又は 内容説明
受取利息	1.2	0.1	△1.1	QUO会計方針変更により売上計上等
受取配当金	2.4	2.5	0.0	保有有価証券に係る配当金が増加
為替差益	-	1.4	1.4	外貨預金に係る差益
カード退蔵益	3.2	2.3	△0.8	プリペイドカードの未使用見込分が減少
法人税等還付加算金	1.4	-	△1.4	2007/06: 税金更正異議決定に係る法人税等の還付加算金
その他	1.5	2.9	1.4	主な内容: 家賃収入、助成金収入等
営業外収益 計	9.9	9.5	△0.4	

営業外費用	2007/6	2008/6	前年同期比	増減要因 又は 内容説明
支払利息	0.3	0.0	△0.3	売上原価への振替額増加
投資有価証券売却損	-	0.5	0.5	保有有価証券の売却
退職給付引当金繰入額	0.6	0.6	-	会計基準変更時差異の償却額
証券代行手数料	0.2	-	△0.2	信託銀行への株式事務委託費用
転籍調整費用	0.4	-	△0.4	転籍に伴う給与調整額
その他	0.4	0.7	0.2	主な内容: 証券代行手数料、転籍調整費用等
営業外費用 計	2.1	1.9	△0.1	
営業外損益 Net	7.7	7.5	△0.2	

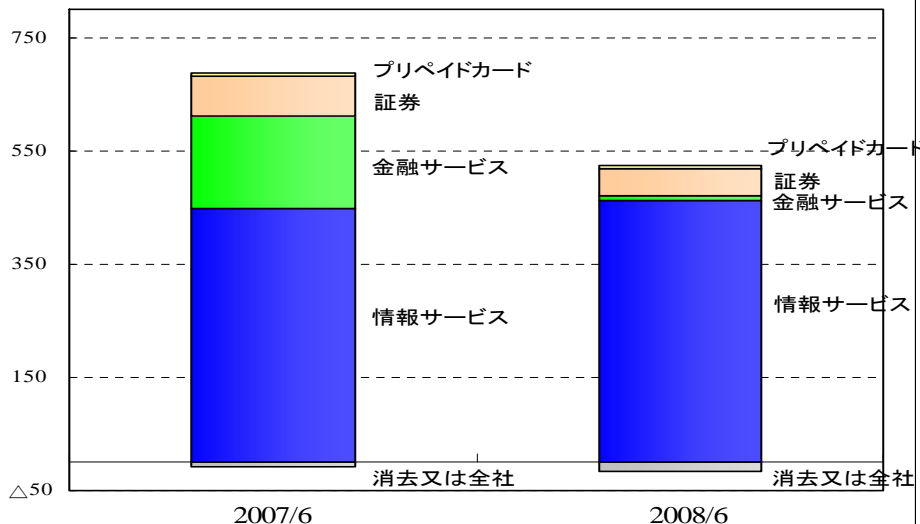
特別損益の内訳

(単位: 億円)

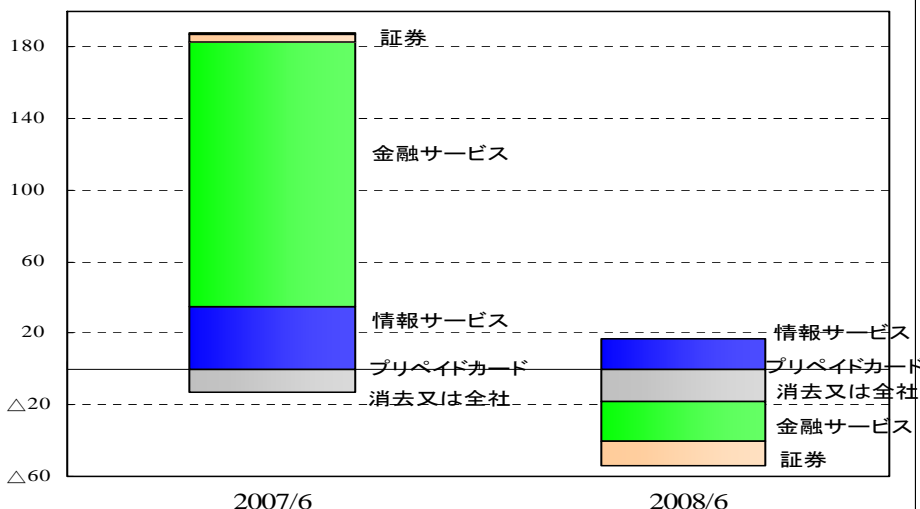
特別利益	2007/6	2008/6	前年同期比	増減要因 又は 内容説明
金融商品取引責任準備金戻入益	-	7.1	7.1	金融商品取引法施行に伴う金融商品取引責任準備金の戻入益
その他	0.0	0.3	0.2	主な内容: 貸倒引当金戻入益 等
特別利益 計	0.0	7.4	7.3	
特別損失	2007/6	2008/6	前年同期比	増減要因 又は 内容説明
固定資産売却損	0.3	-	△0.3	2007/06: 土地売却によるもの
固定資産除却損	0.4	-	△0.4	2007/06: 事業用資産の除却
減損損失	1.8	9.2	7.4	子会社の事業用資産の減損 等
証券業に係る特別法上の準備金	0.6	-	△0.6	2007/06: 証券取引責任準備金及び金融先物取引責任準備金の繰入額
その他	0.0	3.3	3.3	主な内容: 子会社整理損失引当金繰入額、株式交換費用 等
特別損失 計	3.4	12.6	9.2	
特別損益 Net	△3.3	△5.1	△1.8	

セグメント別業績

売上高



営業利益

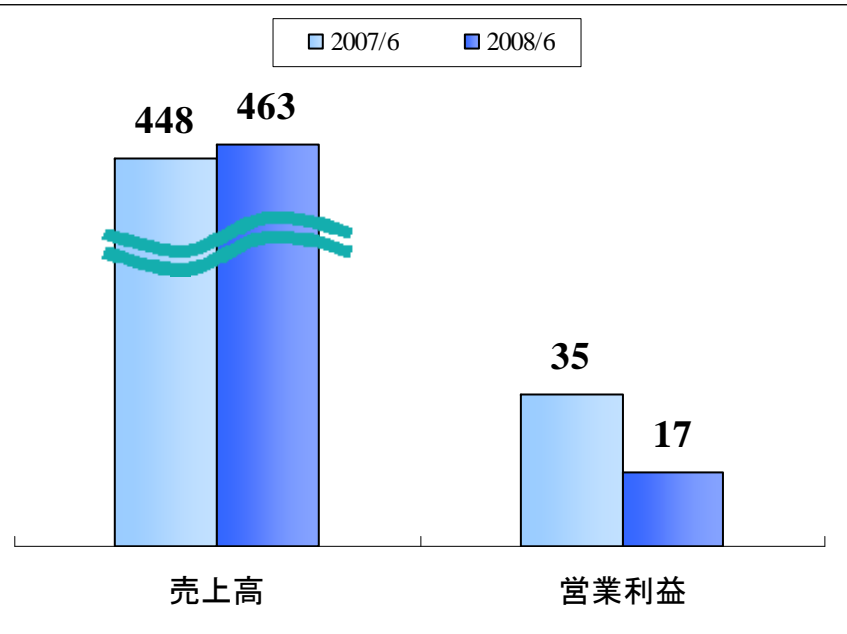


(単位: 億円)

	2007/6	2008/6	前年同期比	増減率
情報サービス事業				
売上高	448	463	14	3.3%
営業利益	35	17	△18	△52.0%
金融サービス事業				
売上高	164	8	△155	△94.7%
営業利益	148	△22	△171	△115.4%
証券事業				
売上高	69	47	△21	△30.7%
営業利益	4	△14	△18	△385.2%
プリペイドカード事業				
売上高	6	7	0	2.2%
営業利益	△0	0	0	-
消去又は全社				
売上高	△8	△15	△7	-
営業利益	△13	△18	△5	-
合計				
売上高	680	511	△169	△24.9%
営業利益	175	△37	△213	△121.3%

情報サービス事業の業績(1)

(単位: 億円)



<情報サービス事業: 売上+3.3%、営業利益▲52.0%>

対前年比では、サービスプロバイダーに向けた新規事業投資に加え、データセンタ関連の減価償却費や営業強化などの費用増により、減益。一方、計画に対しては想定通りの進捗。

		2007/6	2008/6	前年同期比	増減率
CSK-SYS ※1 (再編各社合計)	売上高	268	275	6	2.6%
	営業利益	21	13	△7	△35.1%
JIEC	売上高	33	33	△0	△1.9%
	営業利益	3	3	0	2.2%
VERISERVE	売上高	21	19	△2	△9.7%
	営業利益	3	1	△2	△65.4%
SWC、CCO-Grp 合計※2	売上高	66	61	△4	△7.0%
	営業利益	5	1	△4	△70.9%
CSK-SS	売上高	30	30	0	0.8%
	営業利益	4	2	△2	△49.1%
その他、連結消去 ※3	売上高	28	43	15	53.7%
	営業利益	△2	△5	△2	-
情報サービス事業	売上高	448	463	14	3.3%
	営業利益	35	17	△18	△52.0%
営業利益率		8.0%	3.7%	△4.3%	

※1 2007/7より再編のため合算ベース。

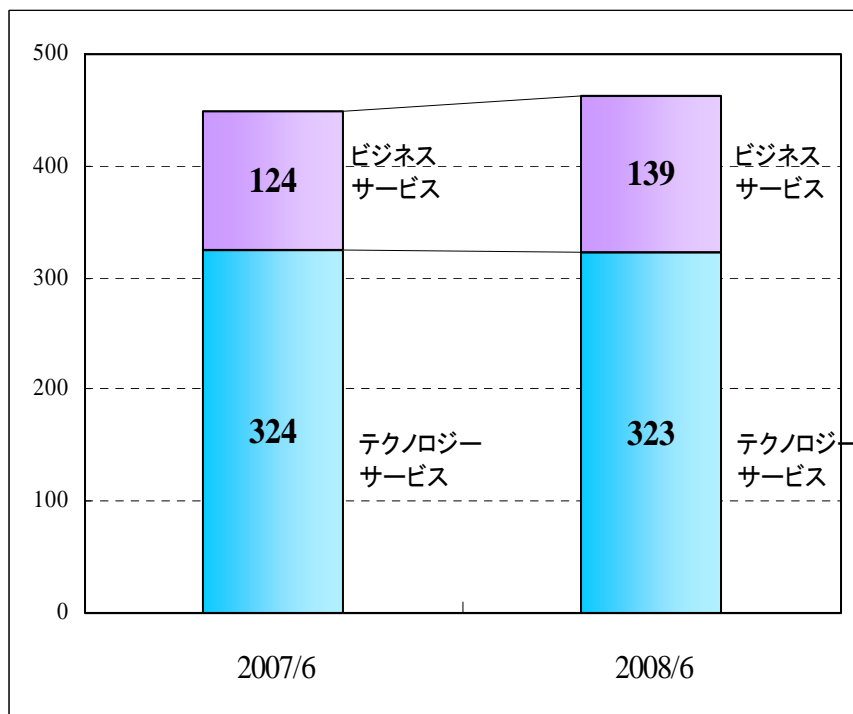
※2 2008/1より再編のため合算ベース。

※3 その他の会社業績と連結消去の合算値を記載。

情報サービス事業の業績(2)

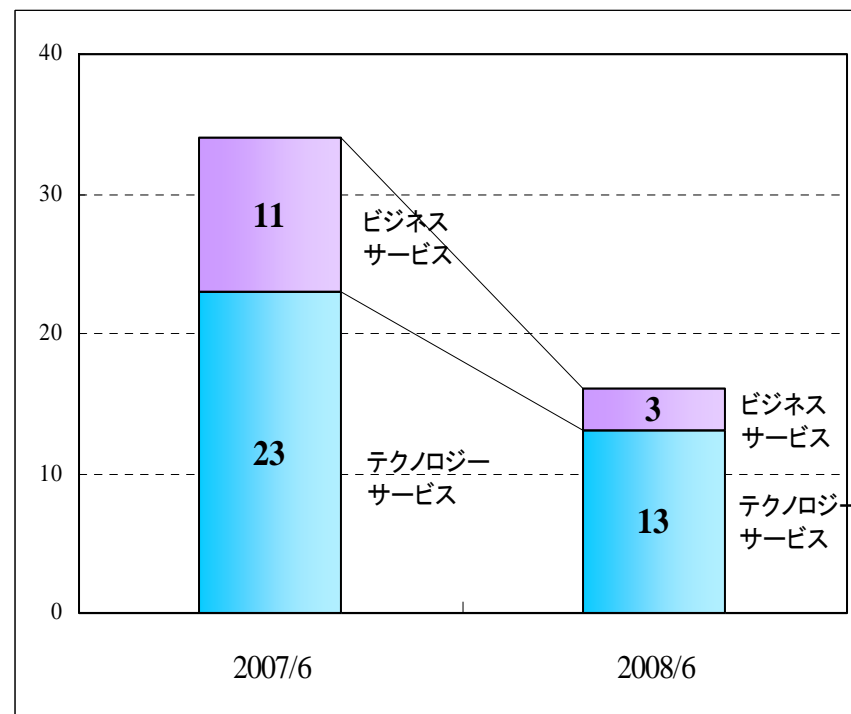
情報サービス事業 売上高

(単位:億円)



情報サービス事業 営業利益

(単位:億円)



○テクノロジーサービス:

売上: 金融・保険業界向けシステム開発が順調に拡大するとともに、車載向けや制御系の組込みソフト開発が牽引。

営業利益: 戦略的事業投資やデータセンタ新設などに伴う減価償却費の増加により、対前年比では減益。

○ビジネスサービス:

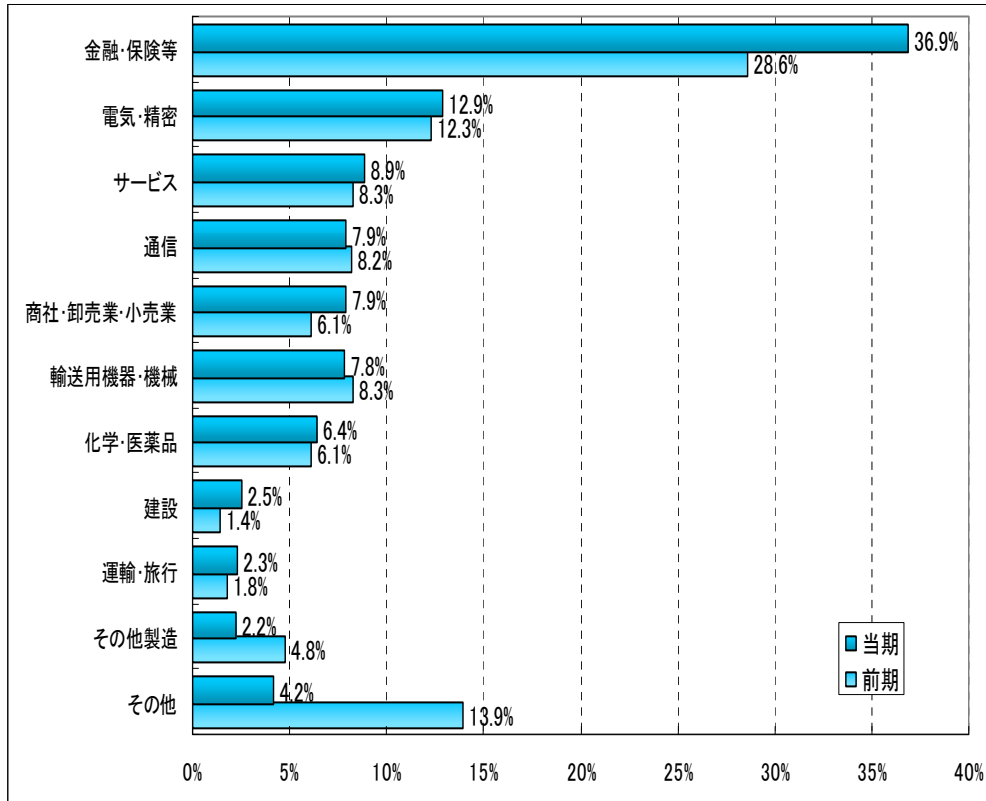
売上: コンタクトセンターや製品検証サービスの売上が減少となるも、フルフィルメントサービスやモバイルビジネスが堅調に推移

営業利益: 製品サイクルの長期化などによるテクニカルサポートの減益に加え、採用拡大や営業力強化等の施策による費用増により減益。

情報サービス事業の業績(3)

業種別売上推移

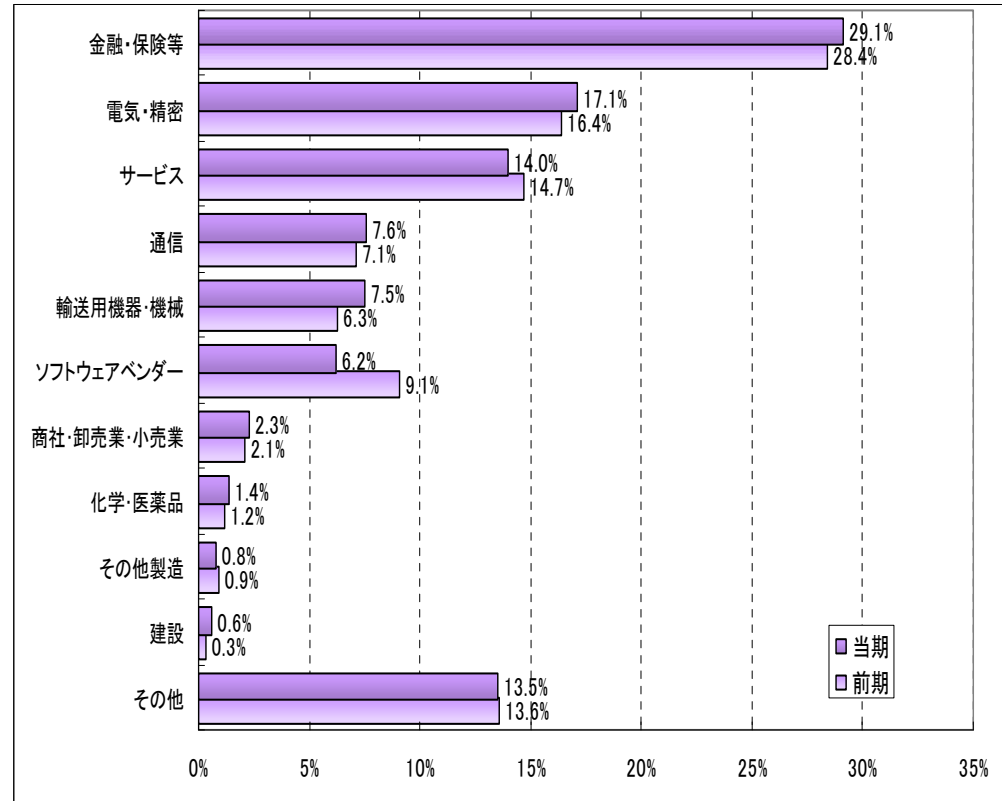
<テクノロジーサービス>



<テクノロジーサービス>

システム開発、システム運用、ITアウトソーシングなどのITサービス

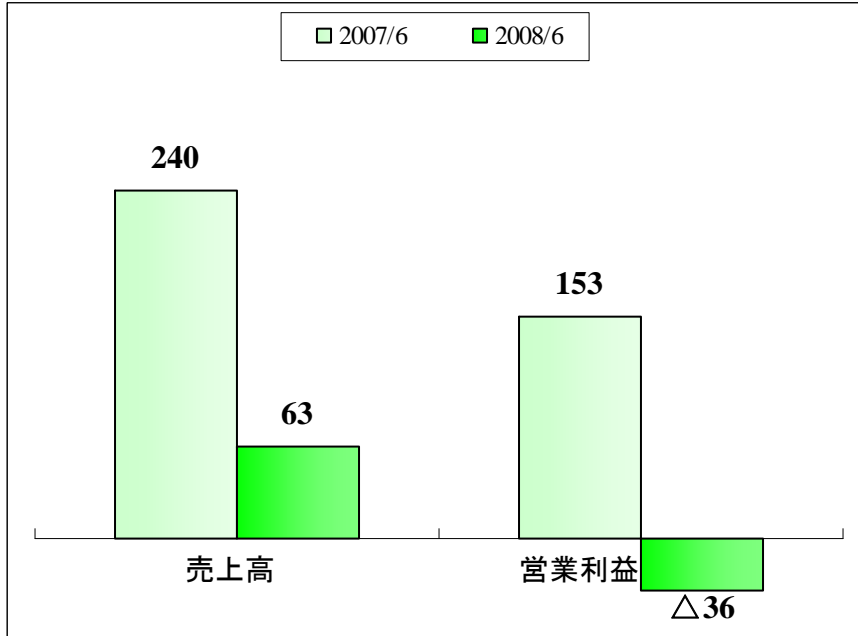
<ビジネスサービス>



<ビジネスサービス>

テクニカルサポートなどのコンタクトセンター業務や
その他のバックオフィスサービス

金融サービス関連事業の業績(1)



(単位: 億円)

		2007/6	2008/6	前年同期比	増減率
金融サービス事業	売上高	164	8	△155	△94.7%
	営業利益	148	△22	△171	△115.4%
証券事業	売上高	69	47	△21	△30.7%
	営業利益	4	△14	△18	△385.2%
プリペイドカード事業	売上高	6	7	0	2.2%
	営業利益	△0	0	0	-
金融サービス関連事業	売上高	240	63	△177	△73.6%
	営業利益	153	△36	△189	△123.6%

※ 金融サービス関連事業 = 金融サービス事業、証券事業、プリペイドカード事業の3つの事業を合わせた総称

<金融サービス関連事業: 売上 ▲73.6%、営業利益 ▲123.6%>

—金融サービス事業:

2008/3期1Qに案件の精算が集中したことに加え、今期は大型案件の精算が上半期は2Qに集中していることにより、減収減益。

—証券事業

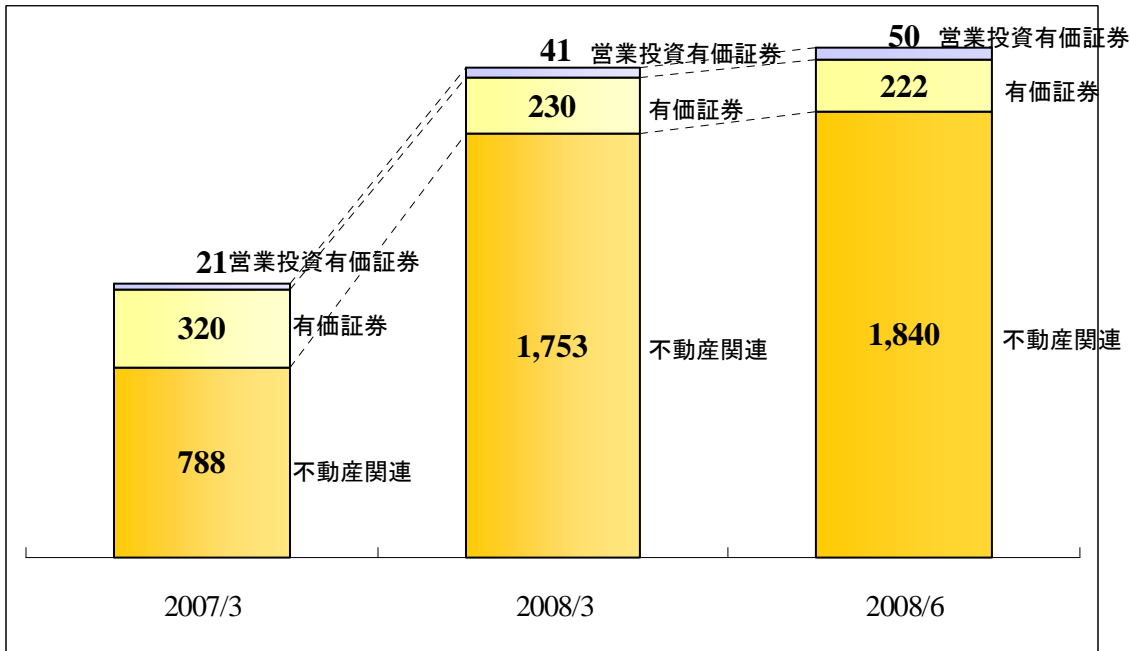
株式市場の低迷による株式委託手数料の減少やトレーディング収益の減少などにより減収減益。

—プリペイドカード事業

販売促進ツールや株主優待などのギフト需要拡大に加え、会計方針の変更により増収。

金融サービス関連事業の業績(2)

金融サービス事業の投資残高と業績推移



(単位: 億円)

	2007/3	2008/3	2008/6
金融サービス運用資産(A)	1,108	1,984	2,062
営業投資有価証券(B)	21	41	50
資産合計(C=A+B)	1,129	2,025	2,112
金融サービス負債(D)	151	443	441
資産・負債純額(E=C-D)	978	1,582	1,671

売上高	250	203	8
営業利益	158	130	△22

キャッシュ・フロー

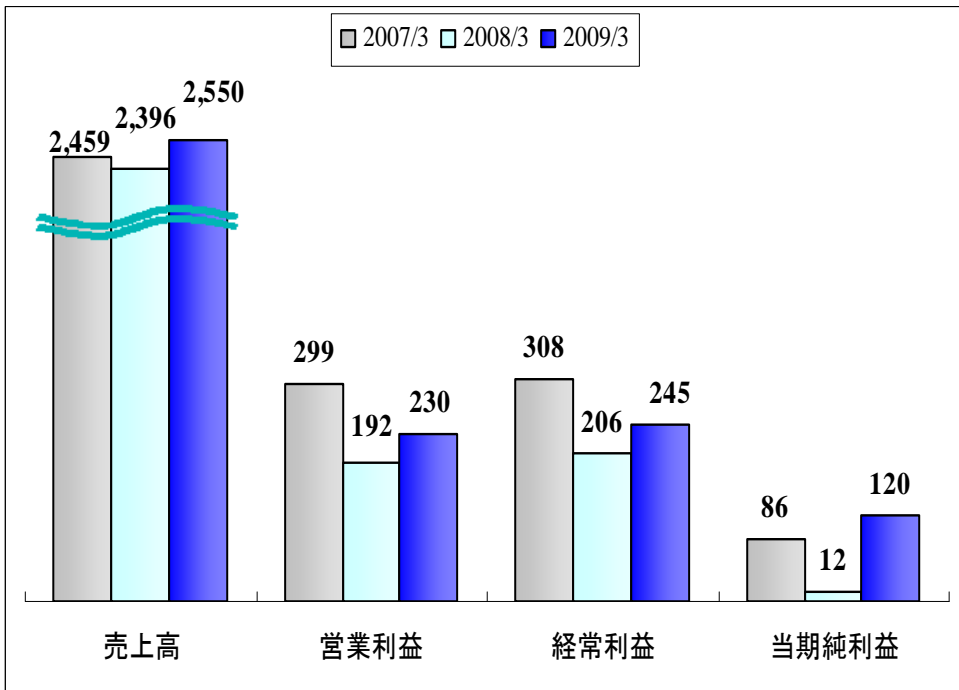


(単位:億円)

	2007/6	2008/6	前年同期比	増減要因 又は 内容説明
営業キャッシュ・フロー	28	△180	△208	営業損失、金融サービス運用資産の増加等
投資キャッシュ・フロー	△107	△18	89	2007/06:事務所設備、CSK多摩センターの設備取得等
財務キャッシュ・フロー	△5	44	49	短期借入金の増加等
キャッシュ・フロー 計※	△83	△153	△69	
現預金残高	971	439	△532	

※：換算差額含む。

通期業績予想



(単位: 億円)

	2007/3	2008/3	2009/3 予想	前期比	増減率
売上高	2,459	2,396	2,550	153	6.4%
営業利益	299	192	230	37	19.4%
営業利益率	12.2%	8.0%	9.0%	1.0%	-
経常利益	308	206	245	38	18.7%
当期純利益	86	12	120	107	843.3%

(単位: 円)

	2007/3	2008/3	2009/3 予想	前期比
1株当たり利益	117.35	17.34	155.78	138.44